

頑張った少年少女フェスティバル

■ものづくりの楽しさ■

依知南地区 浅野英子

フェスティバルに初参加の私は、事前準備で「万華鏡」の色々なパーツを作りました。会場では、子どもたちの手によってパーツが組み合わされていき、教えながら共に作る充実感でいっぱいでした。

「万華鏡」づくりは、自分で決定する工程がいくつかあります。例えば、外側の柄を選ぶことや中に入れるビーズの調整です。

中をのぞき込んで満足そうにニコリする顔、ビーズをもう少し足して気に入った量になり微笑む顔、見せてもらって「きれい！」と言ってお互いの気持ちが一とつになる温かい瞬間でした。

それはきっと私だけではなく、ジュニアリーダー、青少年指導員も同じだったでしょう。

お金をかせば何でも買える時代だからこそ、ものづくりの大切さを改めて感じた一日でした。

■笑顔いっぱいの竹ぶえづくり■

睦合南地区 建部圭一

少年少女フェスティバルに



竹ぶえづくりに熱中してます

初めて参加しました。睦合南地区は、睦合西地区とともに竹ぶえづくりを行い、多くの子どもたちが作製を体験しました。

当日を迎えるまでは、楽しみな気持ちだけでなく、「音の鳴る竹ぶえをつくることができるか」という不安な気持ちでいました。

一週間前に試作した時にはうまく作ることができず、納得のいくものができないまま、本番を迎えてしまったからです。

しかし、何個も作っていくうちに、コツをつかむことができました。子どもと一緒に削ったり、穴を空けたりしていくと、竹ぶえが完成します。実際に吹いてみて大きな音が鳴ると、子どもたちはうれしそうな表情を見せてくれました。そして、一

生懸命作った竹ぶえを大切にうに持って帰っていました。

子どもたちの笑顔に囲まれて、充実した時間を過ごすことができました。これからも、子どもたちが笑顔でいられるよう、活動していきたいと思いました。

■子どもたちの楽しむ笑顔■

荻野地区 小野澤峰子

「見てみてー。できたよー。一緒に遊ぼう♪」振り返ると一時間くらい前に『輪ゴム鉄砲』と一緒に作った男の子です。他の地区で作ったおもちゃを見せに来てくれました。

荻野地区では、カッターナイフで割り箸を切り、輪ゴムで組み立てる『輪ゴム鉄砲』づくりを行いました。

集まった子どもたちは2歳から小学6年生、すべて自分で作ろうとする子や難しいところは作ってもらおうとする要領のいい子といろいろです。

ジュニアリーダーたちは、自分なりの作り方を考え、工夫して教えていました。

完成した『輪ゴム鉄砲』で試し撃ち!「ありがとう♪」と楽しそうに帰っていく笑顔に、時間はあっという間に過ぎ、充実した一日となりました。

■スーパー竹トンボ■

森の里地区 馬場富親

慣れない手つきでナイフを扱う子どもたちの手元をハラハラしながら見守るのは、なかなか心臓に悪いものです。本当に危なく手を出さないようにしていました。

もちろん、初めてナイフを使う子に対しては、その持ち方から教えます。多くの子は、頑張って竹を削ろうとします。羽根を削る時に、怪我をしないように、そして羽根を持ち易くするために専用のホルダーを用意しています。

羽根の中央を炎であぶってひねりを加え、軸を接着すると完成となり、早速試験飛行です。削り・ひねり・バランスがうまくできた竹トンボは、テントを



スーパー竹トンボ作製中

軽く超えるほど飛ぶことができます。

ナイフに挑戦できなかった子には、目の前で作ってあげますが、自分で作った感を出すために、羽根のひねりはその子にやってもらいます。

さらに高く・遠くまで飛ばすためには、流体力学に基づいた形状にするのですが、それは大人になってからの挑戦です。

■青少年課から■

今年度、新たに青少年指導員に委嘱された方を対象に、新任研修会が6月9日にヤングコミユニティセンター・ホール250で行われました。

ジュニアリーダー、各部会長や副会長の話に熱心に耳を傾け、積極的に質問していただきました。

これから始まる青少年育成活動の活躍に期待が高まります。



先輩指導員の講義に皆さん真剣です

野外指導者講習会に参加して

■野外指導者養成講習会■ 体育部会部会長 三橋正巳

今年は七沢自然ふれあいセンターに場所を移して、6月16、17日に宿泊研修を開催し、野外炊事の実践と安全対策、ロープワークと危険予知トレーニング(KYT)について学びました。

ロープワークは、厚木市消防本部から4名の消防士を講師として招き、野外活動に必要な基礎知識と、多数ある結び方の中から、5種類を学びました。

KYTは、活動中の危機管理という観点での研修でした。野外炊事では、どんな所に危険が潜んでいるかを検証しながら行いました。今回の研修で学んだことを、今後の地域活動に役立てて頂きたいと思います。

■ロープワークに四苦八苦■

緑ヶ丘地区 竹内隆志

小雨の中30分前には参加者が集合し、厚木市消防本部の消防士から「ロープワーク」の指導を受けました。普段意識していない「本結び」、「八の字結び」など目的に応じた多数の結び方に四苦八苦していました。が、キャンプや災害時に活用できるので一生懸命頑張りました。

た。

次に、KYTの研修ですが、育成者として活動する上で危機管理を常に意識し、KYTの実践は欠かせません。今後学んだことを活かし、子どもたちと安全で楽しい活動にしていきたいと思っています。



ロープワーク実践中です

■絵だけでは分からない

ロープワーク■

南毛利南地区 久保勝寿

今年度の研修のメインはロープワーク、一昨年の野外指導者育成講習会でも研修したので少しはできるはずとっていました。ところがテキストのロープの結び方の絵を見てもチンプンカンプンで、ロープの末端を通す場所が分かりません。

あちこちで「ここからどうするの?」、「できた!」と、いろいろな声が飛び交っていました。ロープが絡まれば頭もこんがらがってしまい、手だけではなく、頭もフル回転でした。それでも講師の皆さんの懇切丁寧

新任青少年指導員の

意気込み

■抱負■

南毛利地区 須藤学

自治会長の要請で仕方なしに青少年指導員の任を拝命したというのが正直なところでした。

しかしながら新人研修や行事に参加するにつれ、今の子どもたちは、学校を離れた瞬間に友達と楽しむ、コミュニケーションするという環境が意外と少ないことに驚きました。折しも関西で起きた「いじめ」問題に発すると思われる不幸な事件が連日報道されています。親と子、子ども同士のふれあいやコミュニケーションといった環境づくりに地域の一員として少しでも貢献できればと思っています。

■青少年指導員になって

3ヶ月■

睦合西地区 原英介

今年から青少年指導員になりました。何もわからず戸惑いな

がら、少年少女フェスティバルと鮎のつかみどりに参加しました。

少年少女フェスティバルでは、子どもたちに道具の使い方教えながら、竹ぶえと一緒に作りました。子どもたちが自分の手で作った竹ぶえが鳴ったときや鮎のつかみどりで魚を捕ったときの子どもの笑顔がうれしかったです。

これらの行事に参加して、青少年指導員の役割が分ってきました。青少年指導員になってまだ3か月ですが、これからの未来ある子どもたちに、ルールやマナー、何かを最後までやり遂げる楽しさを、役員の人たちとともにいろいろな行事を通して教えていきたいと思っています。

■ありがとうと笑顔で■

厚木南地区 満井八重子

青少年指導員として右も左も分らず不安なまま、初めてのイベント『少年少女フェスティバル』に参加しました。子どもたちと一緒に空気砲を作り、遊びました。

「ありがとう」と笑顔でいっぱいの子どもの顔が印象的でした。

新任研修会では、ジュニアリーダーの皆さんにゲームを教えていただき、楽しくそして癒されました。

■無理せず自分も楽しんで■

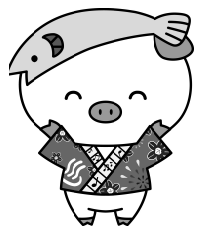
小鮎地区 川瀬久弥

まだ始まったばかりですが、元気で優しい子どもたちと出逢い、ふれあいを大切に活動していきたいと思っています。先輩方の後について青少年指導員として研鑽してまいりますのでよろしくお願い致します。

青少年指導員を委嘱されて数か月、先輩青少年指導員や青少年健全育成団体の方々の子どもたちに対する熱意や関わり方には、大変驚きました。

特に、公民館での各種地域の役員の方々との情報交換等やとりとりでは、地域の状況や子どもたちの日々の行動などをよく把握されています。その姿を見て、「こんなに自分も熱くなれるの?」などと、自問自答してしまい、自覚と責任を再確認しています。

これからも、先輩方の熱い気持ちを見習いながら、少しでも先輩方に近づけられるようスキルも上げ、無理せず、自分も楽しんで青少年指導員の活動を続けて行ければと思います。



厚木市マスコットキャラクター

あゆみ回

新任指導者
頑張れ!